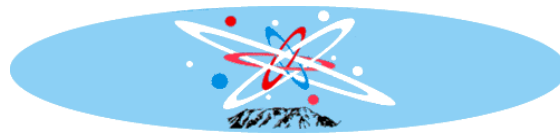


富山みらいロータリークラブ

WEEKLY REPORT



ロータリーは機会の扉を開く



国際ロータリー第 2610 地区

2021. 6. 8 発行

No. 35

創立 1997. 6. 4

承認 1997. 6. 18

2020-2021 年度 R I テーマ “ Rotary Opens Opportunities “

～ ロータリーは機会の扉を開く ～

第 1109 回 例会の記録

2021年 6月 1日 (火) 例会場：オークスカナルパークホテル富山 2 階中・西の間
司 会 林清滋 S A A
開 会 点 鐘 山田会長
ソ ン グ 「 君が代 」 「 奉仕の理想 」
四つのテスト唱和 山田会長
会 長 挨拶 山田会長 (挨拶後、創立 24 周年を祝って乾杯)
皆 出 席 表 彰 河上会員、村田会員、山崎会員、吉田誠会員 (24 年)



創立 24 周年を祝って、乾杯



結婚記念日祝
出席報告

三浦会員 (6月2日)

【総員数：79名】

※ () 内はメーキャップ人数

当 日 (6 月 1 日)	5 6 (1) / 7 9	出席率 7 0 . 8 9 %
前々回 (5 月 1 8 日)	5 6 (9) / 7 9	出席率 7 0 . 8 9 %

幹事報告

布目幹事より

- ・本日発行の週報にも掲載いたしました。ロータリーの友事務所より「ロータリー日本 100 年史」が 6 月末に発行されます。クラブに 1 セット贈呈されますが、購入を希望される方は各自、メールでお申し込みください。価格は 1 セット 6,600 円です。
- ・6 月のロータリーレートのご案内です。5 月と変わらず、1 ドル 109 円です。

委員会報告

吉田大介職業奉仕委員長より

- ・6 月 4 日 (金) に行われる第 4 回職業奉仕委員会勉強会について
- ・24 年間、皆出席でき、ありがとうございました
- ・皆出席表彰をいただいて
- ・24 年間、皆出席表彰をいただきまして、ありがとうございました
- ・24 年間出席しました
- ・結婚記念日祝いをいただいて
- ・遅刻のおわび

河上さん
村田さん
山崎さん
吉田誠さん
三浦さん
山崎さん

卓 話
閉 会 点 鐘

歴代会長によるスピーチ

山田会長

本日 第1110回例会プログラム

2021年 6月 8日(火) 於：オークスカナルパークホテル富山2階東・中の間

株式会社ワプラス 代表 村上 宏康 氏による卓話
「自分の人生は自分のものだ」

6月の行事予定

6月15日(火) NPO法人ハッピー・ウーマン・プロジェクト 小林 涼子 氏 於：オークスカナルパークホテル富山4階翠鳳
22日(火) 下半期行事報告・退任挨拶・バッジ交換 於：オークスカナルパークホテル富山4階翠鳳
29日(火) **クラブ指定休日**

お知らせ

○例会変更

6月10日(木) 富山西RC 早朝例会【富山電気ビル】9:30~13:30
17日(木) 富山西RC 創立記念懇親会【富山電気ビル】9:30~13:30
21日(月) 富山シティーRC 例会場変更【オークスカナルパークホテル富山】9:30~13:30
23日(水) 富山中RC 創立45周年記念式典【ホテルグランテラス富山】9:30~13:30
28日(月) 富山大手町RC 年度末懇親会【ANAクラウンプラザホテル富山】15:30~19:30

*今後の状況によっては例会変更が取消しになることもございますので、ご注意ください

○ニコボックス累計金額 222件 995,000 円
○米山記念奨学会寄付金 5件 520,000 円(特別寄付金累計金額 22,271,681 円)
○R財団寄付金 1件 1,000 \$
○ロータリー適用相場のお知らせ 1ドル 109 円

第12回理事役員会

【審議事項】

1. 5月度収支報告

【報告事項】

1. 5月15日(土)富山第二グループ親睦ゴルフ競技会決算報告
2. ロボットコンテストの地区補助金返金について

例会欠席のご連絡は、例会前日の午前中までに事務局へお願いいたします

事務局電話番号 : 076-441-2824

事務局携帯番号 : 090-5683-3660

Zoomを利用した例会参加について

今年度よりZoomを利用して例会に参加できるようになりました。
例会前日に接続先をご案内いたしますので、欠席予定の方はご利用ください。
なお、その際は事務局にご連絡ください。よろしくお願いいたします。

◆ 歴代会長によるスピーチ ◆

1997-1998 年度 会長 押田 邦夫 会員



1997年6月4日、富山西ロータリークラブさんにスポンサーをしていただき、今は亡き高田秀穂パストガバナー、押川恵大先輩の熱意で中尾哲雄特別代表のお導きのもと、もったいなくも私の提案させていただきました「富山みらいロータリー」の命名と初代会長のお役を賜わり、チャーターメンバー41名の仲間と共に、私たちのクラブをスタートさせていただきました。

現会員であるチャーターメンバー12名は、次期会長の林不二男さんも含めて会長職を務めることとなり、スタート当時、富山で初めて誕生した女性会員3名は、今は12名のにぎやかさを例会でいっぱいかもしれない出されており、創立1年目から松波さんのご子息、好青年潤哉さんがオーストラリアのケントホーストクラブに派遣されたことも思い出深いものがあります。

創立時の会員数は41名、現在は79名ですが、平均年齢57歳の若々しいクラブで嬉しいですね。

1998-1999 年度 会長 林 和夫 会員



私の会長年度は1998-99年度であった。20年以上前のことであり、どんなことをしたかほとんど記憶にないが、しっかり覚えているのは新年度が始まる前に幹事を誰にお願いすればよいか困ったこと。チャーターメンバーでよく知っている人は西クラブからの移籍メンバーだけであった。そこで、ある勉強会で一緒していた翠田さんに電話し会社に伺って幹事就任を依頼したところ、二つ返事で了解してもらった。後から聞いたら、翠田さんは複数人いる幹事の一人だと思って引き受けたとのことであった。しかし、相談相手の女房役としてはうってつけで、クラブ運営についての多くの学びは翠田さんが会長を務めた2008-2009年度に活かされたと思う。そのお返しとして、翠田年度に当クラブがホストをした地区大会の実行委員長を私が務めることになった。

さて、年度が始まって何をしたかと思い出すために、翌年の1999-2000年度の「クラブ概況と計画書」を探し出して行事報告のページを眺めた。まず、「クラブ以外の行事など」で思い出させられたのが押川恵会員の北陸ミートさんでの12月の職業奉仕委員会と2月の社会奉仕部門委員会のIDM（家庭集会）。ミーティングの内容は全く覚えていないが、おいしい牛肉にありついた記憶がよみがえった。「例会編」では、今も会員であるメンバーの卓話として、西尾さんの「私の考え方」、中井さんの「かわいい子には旅をさせるべき?」、山本倫郎さんの「ケーブルとリサイクル」、林不二男さんの「最近のプライダル事情」、そして押田さんの「ロータリーありがとう、私を育てていただいて」が記載されていたが、これも内容は記憶にない。

また「クラブ概況と計画書」には書かれていないが、1999年5月に四津谷道昭ガバナーを団長とするRI2610・9600地区友情交換でオーストラリアのシドニーに出かけたが、その足で地区国際青少年交換委員長だった金沢RCの北川昭夫さん（後に地区ガバナー）と2人、当クラブとの友好クラブ締結を望んでいたケントホーストRCを訪れて会長他関係者と話し合い、これが2001年3月の締結調印につながった。さらに、ケントホーストRCとの縁からバヌアツ共和国への5回にわたる支援活動になっていることを思うと、初めてのケントホーストRC訪問が、会長としての一番の記憶だと思う。

2001-2002 年度 会長 山本 倫郎 会員



2001年7月～2002年6月のRI会長であるリチャードD・キング氏は、「人類が私たちの仕事」ロータリアンたるもの、人道的な働きをせずに生涯を送ったことを後悔しながら、人生を終えることが無いようにいたしましよとテーマを掲げました。

創立5年目、平均年齢も若く会員の増強も創立以来16名プラスと順調に育っています。年度行事の思い出は、創立5周年記念パーティーに友好提携クラブの前橋中央RC・ケントホーストRCメンバーの参加者に楽しんで頂いたことです。

楽しい思い出ばかりですが、全ては会員の知恵と汗によりクラブ運営がなされてきました。その要が「クラブ幹事」だと改めて理解し大変良い勉強をさせて頂き感謝しています。

2004-2005 年度 会長 吉田 誠 会員



17年前の2004年に会長を務めた吉田です。

この時はロータリー発足100周年記念として「ロータリーを祝おう」とロータリー2世紀目を目指してみんなで一緒に歩み始めました。カンボジアに小学校を2校贈呈致しました。吉田大介会員がパソコンを土産に開校式に出席してくださいました。

この年は災害と多い年でした。魚津での地区大会の終演の乾杯の時、「ドーン」と地響きがあり、大きな被害を出した中越地震の地鳴りでありました。災害は他に、福井水害やスマトラ沖地震がありました。前橋中央RC友好調印式に上田幹事と出席しました。ケントホーストRCの呼びかけに応じ、バヌアツ共和国に病院建設プロジェクトに参加し、今日まで交流が続いています。

私はRCの好きなところは戦争反対としているところです。

2005-2006 年度 会長 品川 鐵夫 会員



これからの会長に希望とお願いをお伝えいたします。

「みらい」という名前は、私が入会するときに非常に気に入りまして、将来、どうなるかわからない自分たちに夢と希望を与えるような名前でありました。押田会員が命名したと聞いておりますが、非常にいい名前です。当時は斬新な名前だったのではないかと思います。

私の希望をお伝えします。現在、3つの友好クラブがありますが、各クラブとの交流について入会間もない方はわからないと思います。ですので、クラブ概況と計画書に交流歴などを掲載してほしいと思います。また、「みらい」ということから言って、創立30周年までにはアメリカ、もしくはハワイなどに友好クラブ提携をする準備をされたらどうでしょうか？創立10周年の時には横浜MM21クラブ（MM=みなとみらい）を当時の小西会長が探し出し、友好クラブ提携をしました。ぜひこちらから積極的に働きかけることで、これから入会する若い人たちにこういうクラブだとイメージできるクラブになってほしいと思っています。

2008-2009 年度 会長 翠田 章男 会員



2008年の2610地区・地区大会のホストクラブ会長を務めたことが思い出深い。当クラブとしてはIM・10周年・地区大会と続く、対外事業のホップ・ステップ・ジャンプの最終年であった。林和夫実行委員長を先頭に、岡崎さん、西尾さん、山田さんと何回も朝日建設に集まり協議を繰り返したことが懐かしい。環境に対する意識改革なくして企業経営のみならず人間の未来は考えられないということで、大会を貫くテーマは「自然と共にある価値」、記念公演はCWニコル氏による「森から未来をみる」とした。大会テーマに沿って

お弁当を無駄にしたいくないという理由で、初めての試みとして「街中ランチ」を行い、雨に備える傘を新たに購入せず、会員に余り傘のご提供をお願いした。

振り返ればSDGsを先取りしたような大会であったと思う。SDGsについては、CSR（企業の社会的責任）よりもCSV（社会価値と経済価値の両立）に近いものと捉えている。「慈善活動で社会を良くする」というより「ビジネスを用いて社会を良くする」という考え方。渋沢栄一翁は名著「論語と算盤」の中で、論語＝道徳は、算盤＝経済と必ず一致するという「道徳経済合一説」を主張し、二宮尊徳翁は「道徳なき経済は罪悪であり、経済なき道徳はただの寝言である」と遺している。このことはロータリークラブの根幹である職業奉仕に通じるものではないかと考えている。

大会を通じて、安平和彦RI会長代理（姫路R・弁護士）の次の言葉が忘れられない。

「商売とは、顧客に商品を売ってお金という報酬を得る、それだけのものではない。商売とは、顧客に満足をお届けして、感謝という報酬をいただくものだ。」当時は、実体経済より金融経済の方が大きくなり、富の格差が極端に拡大する資本主義のゆがみが論議され始めたころと記憶している。

2010-2011 年度 会長 山崎 安仁 会員



富山みらい RC は 1997 年 6 月に 40 数名で富山市に 6 番目の RC として発足し、多数の女性会員の参加があり、会員の平均年齢も 40 代と若々しく明るく楽しい例会が開かれました。

私が会長を務めさせていただいた 2010-2011 年は、前年の政権交代を皮切りに財政悪化が進み、世の中が混迷している中、富山外国語専門学校生が犠牲になったニュージーランドの地震やその後、多数の方々が亡くなった東日本大震災等、心痛む出来事が続き、一時期自粛ムードとなりましたが、村田幹事並びに役員の方々の手助けにより、RC として元気を出そうとさらに例会を充実し、つつがなく 1 年間を終えることができました。大震災時にまた福島原子力発電所におけるメルトダウンなどが起こり、未だに復興には程遠いのが現実です。

昨年から新型コロナウイルス感染拡大が続き、緊急事態宣言も出てまだまだ収束が見えません。一日も早くワクチン接種の拡大を願っています。

2012-2013 年度 会長 中井 清志 会員



会長を引き受けるに当たり、どなたに幹事をお引き受けいただくか悩みました。私はどちらかというと思ったことをすぐ口に出す毒舌タイプですし、人の好き嫌いもはっきりしています。そこで、その欠点を少しでも和らげていただけの人をと、気も心も優しい石田泰三さんに白羽の矢をたて、お願いに参上しましたが固辞されました。しかし、諦めずに三顧の礼（一応私が高校の先輩です）を尽くして石田商店に足を運ばせていただき、ようやく引き受けていただきました。会長なんて飾り者（あくまで私の事です）、実務・調整担当の幹事が一番大変です。石田泰三さん、その節はお世話になりました。ありがとうございました。

私の会長年度には、有難いことに (!?) 特に大きな事業計画がありませんでしたので、毎週の例会に、ちょっとだけ変わったスパイスを込めてみたいと思いました。「楽しくなければロータリーじゃない」と、みらいクラブ創立時の高田ガバナーのお言葉の実践を目指したのです。そこで、早朝例会（朝食例会）を 2 回、通常の昼例会の 1 回をお茶会として開催、そして夜の例会の 1 回をボーリング大会として企画しました。早朝例会は、例会終了後に会社に出勤出来ますし、昼例会のお茶会は、お抹茶と和菓子をいただきながらの日本文化の体験もいいのではと思い企画しました。そして親睦の係りの会員が和服姿でお世話していただいたのが印象的でしたし、例会会場もお茶会に相応しいように設えていただきました。ゴルフ大会は委員会活動として開催されていましたが、より広く参加が見込まれるボーリング大会を企画しました。そんな行事等が思い出ですかね。

最後に、長く例会に出席していないことをお詫び申し上げます。

コロナの発症元にならないようにと、家と会社の往復のみの日々を過ごしております。有難いことに、コロナワクチン接種の第 2 回目が 7 月 17 日（土）、に確定しました。それが終わりましたら、またクラブの仲間と会いに行きたいと思えます。

2015-2016 年度 会長 松波 茂夫 会員



1997 年の春先に押川(恵)さんからお誘いを頂きチャーターメンバーとして入会出来た事は大変光栄に思っております。ロータリーがどのような集まりかも分からず入会した動機は「新しい仲間との出会い」を求めてに尽きます（決して有無も言わせない迫力に従ったわけではありません）。又、息子をオーストラリア・ケントホースト・ロータリークラブへ交換留学生プログラムに参加させて頂きました。

複数のホストファミリー宅に滞在しながら、現地の学校に通い、言語や文化を学びながら、海外に友人をつくり、世界市民としての自覚を養うことのできるプログラムです。息子がどこまで成長したか分かりませんが確実に変化を感じたことは、家族に対し普段の生活の中「ありがとう」の言葉がスムーズに出て来る様になった事です、それにつられたのか思春期の娘から「ありがとう」が頻繁に出て来る様になり男親として接するごちなさが無くなっていったことを実感しました。

ロータリーは 1905 年「仲間のあいだで友情を深めたい」というハリスの思いの下に集まった 4 人が「友情交換」と「経済的相互扶助」を誓って集まり「奉仕の理念」を取り入れることで今日、親睦と奉仕を中心とした国際的組織へと発展してきました。

2015-2016 年度の会長を仰せつかることになった時、私は「みらいクラブ」の良い気風が、よりよい形であり続ける為にテーマを「語り合うこと」と致しました。語り合える仲間と同じ目標に向かって信頼の上で切磋琢磨しながら進んでゆきたいと考えているからです。

ロータリークラブは多様な人々が集まった会です、他人の考えに耳を傾け自身の思いを語る事で知識や経験を分かち合う事が出来ます、多様性こそが成長の源です。

今年は、コロナの関係で親睦会や IDM 各奉仕事業が大幅に縮小される中その機会が減っている事は残念です。会員相互の交流と親睦を深める楽しいクラブを目指し多めに語り合ひましょう。

2016-2017 年度 会長 西尾 公秀 会員



私が会長を務めたのは、みらいロータリーが創立 20 周年を迎えた年度です。この時の幹事は吉田大介さん、SAA は水上さんにお手伝い頂きました。当時念頭にあったのが、ロータリー創設者のポール・ハリスの言葉で「ロータリークラブは過去の栄光に浸る組織ではない。過去の業績よりむしろ未来の活動に価値と目的を置く組織である。」というもので、この考え方をベースに活動を行なうことを決意しました。また、通常年度の事業とは別に記念事業を計画するにあたり、何かしらキーワードがあった方が良いのでは、ということから「みらい」と「こども」の二つに決め、これに沿った事業を組み立てて行きました。基本的には、潜在能力のあるクラブですので、できることはなんでもやろうというスタンスで数多くの事業に取り組み、それらを実現させることができました。そのエネルギーたるや想像を超えるもので、会員の皆さんの熱意には心より敬意を表すると共に感謝しております。

特に、多くの記念事業の中でも強く記憶に残っているのは、創立 20 周年記念事業の最終事業である建築家・隈研吾氏の記念講演会「未来に伝える街づくり」と森雅志富山市長とのパネルディスカッションです。当日は、富山工業高校や富山大学などで建築を学ぶ学生さんと第 2 分区クラブ会員の皆さんや一般の方々など約 400 名の方々に参加していただき、素晴らしいものとなりました。

そしてもう一つ、バヌアツ共和国・ホグハーバー小学校と富山市立堀川小学校の交流事業です。今まで 5 回にわたり現地を訪問し、ソーラーパネルなどを小学校に寄付し設置してきましたが、今回は「ものからこと」への支援ができないかと考えました。そして、お互いの小学校で撮影したビデオを持参・上映し、その中には歌の交歓などもあり、より小学生同士がダイレクトに感じ合え、環境の全く異なる世界に対する深い思いが芽生えるきっかけとなったものと感じております。

このような貴重な体験を得ることができ、20 周年の会長に選任いただいたことに深く感謝いたしております。

2017-2018 年度 会長 橋本 洋二 会員



・1999 年 7 月に入会。6 年間在籍した富山南ライオンズクラブを退会した当時、富山みらい RC への入会の誘いあり。押川恵会員の 1 時間強の「RC とは」の話を聞いて入会。

・会長は 2017.7 月～2018.6 月まで西尾会員からバトンを受け、河上会員に渡す。幹事は山田会員 SAA は布目会員 会計は斎藤会員でスタート。「ロータリーを楽しもう」をクラブメッセージとして活動。

・「元服立山登拝」「富山市小学生なわとび交流会」「ロボット教室体験」「RC の歴史についての勉強会」等々、従来の活動をベースに、新しい「みらいビジョン」検討特別委員会の設置等であつという間の一年間でした。

・中でも、楽しく おいしい夜間例会ということで、ラ・シャンス（環水公園）でのピアノ、ヴァイオリンの生演奏、環水公園の夜景、おいしい料理プラスお酒が思い出深い夜間例会です。手配頂いた親睦委員会の皆様に感謝。

・月初めの会長あいさつは、何を話そうかとストレスにもなりましたが、自分自身を振り返る機会となり、勉強になりました。

・押川恵会員との別れ。退会された方々、入会された方々。新しいパートナーを見つけられた打出会員、水上会員、吉田大介会員。いろんな方々との別れがあり、出会いがありました。

・三代あとの会長（副会長）選びも思い出の一つです。

・新入会員の方々が多く入会されています。みらい RC には、色々な業種の方々がいらっしゃいます。交流してみて、この人ならばと思ったなら、色々な仕事を願ひするのの一つかと思ひます。ちなみに私は 7 人の会員の皆様と交流が続いています。

2018-2019 年度 会長 河上 浩康 会員



創立 24 周年を迎え、誠におめでとうございます。本年度の山田直毅会長や布目大幹事をはじめ理事・委員長の皆様におかれましては、令和 2 年初頭から始まったコロナ禍において、難しいクラブ運営をありがとうございます。しかしながら、大変な時期にこそクラブの存在意義や今後の在り方が見えてくるのではないかと思います。私自身、友人や異業種の方々と話す機会が減ったこの 1 年間、クラブの例会に出席するのが本当に楽しみでした。多くの委員会事業ができなくても、メンバーの方々と顔を合わせ何気ない話をする時間が、貴重でありがたいと思えました。

ここで、私が会長職を務めさせていただいた年度について話させていただきます。平成 30 年 7 月に「ロータリーを知り、次世代につなげる発展を！」というテーマを掲げて始まりました。富山第 2 分区において幹事クラブを務め、新聞社訪問、森富山市長表敬訪問、未来につなぐ小学生植樹体験事業と IM をはじめいろいろな会議や行事の世話役をさせていただきました。クラブの行事としては、元服立山登拝、ロボットプログラミング教室や小学生なわとび大会などの青少年計画委員会の事業、前橋中央 RC25 周年記念例会・懇親会への参加と横浜 MM21RC との交流などがあり、いずれも楽しく思い出深いものばかりでした。親睦委員会の企画してくれる夜間例会の料理やアトラクションは、毎回驚きがありすばらしいものでした。私自身さまざまな勉強をする機会を与えていただき、当時の林不二男幹事や役員・委員長さんはもちろんのこと、すべての方々にお礼を申し上げます。

現在のクラブの状況については、歴代メンバーの活躍のおかげで、対外的に誇らしいクラブに成長していることを実感できます。また、人間の心が乱れ、大規模災害が多発し、新型コロナウイルスのような感染症が流行するこの世の中において、我がクラブが富山のみならず世界に大いなる貢献ができる可能性があるかと信じています。メンバーは心をひとつにして、更なる一步を踏み出していきましょう。

2019-2020 年度 会長 村田 優 会員



昨年度「声をかけ合おう」のテーマで会長をさせていただきました。年度当初は順調に事業をこなしていけましたが新年懇親会以降はコロナ禍のためほとんど休会になってしまい残念な気持ちもありますが貴重な経験をさせていただきました。私はもともとスピーチはあまり得意ではありませんでしたのでよい勉強になりました。会長の特権でその都度自分なりに思っていることを話せてよかったと思います。今だから話せますが、スペースロボットコンテストは台風と重なり開催の可否自体を孤独に決断する体験をしました。横浜には行けませんでした。みなさんのおかげで思い出深い経験をすることができたと思います。

私たちはいまだに新型コロナに翻弄されています。これからワクチン接種も本格的になりますし、東京オリンピックも行われるでしょう。今も大変な苦勞をされている会員も多いと思いますし、これからの経済はどうなるのか予想もできません。最近よく思うのですが日本は不寛容な時代になったと思います。「会食狩り」が度を過ぎていると思いませんか。医師会の会長は政治資金パーティーに出席しただけで罪人扱いされていますが、我々は毎週例会を開催しています。日本の社会全体が他人に厳しく自分には甘い体質に慣れてしまっているのではないのでしょうか。我々経営者や政治家、組織の会長などが人と交わらなくなることは存在そのものの否定につながるものだと考えます。人の痛みをわかる人は「会食をしない」ことがいろいろな方面に影響が出ることを想像出来る人です。ワクチンの順番がどうのこうのと目先の小さいことにこだわりすぎではないのでしょうか。いずれ接種できるのですから。東京オリンピック開催の可否についてはそれぞれに意見があつてどちらが正解かはわかりません。しかし、開催される限りは大成功してほしいものです。ロータリーとは関係ない話になってしまいました。

例会日：火 曜 日
12 時 30 分

例会場：オックスカパ[®]-ホテル富山

事務局：〒930-0858 富山県富山市牛島町 11-1 オックスカパ[®]-ホテル富山 5F
TEL・FAX (076) 441-2824 事務局携帯電話 090-5683-3660
E-mail: info@toyama-mirai.net
URL: <http://www.toyama-mirai.net>